福島県郡山第四中学校との交流宣言文作成

１．交流宣言文の素案作成（夏休みの交流会にて）

生徒の主な活動	活動の様子等
①交流宣言文作成のねらいの確認 ②交流の視点となるキーワードや文章を挙げる。（付箋紙に記入） ③３～４人のグループにてカテゴリー別に意見を分ける。 ④カテゴリー別に宣言項目文の素案を作成 ⑤全体で宣言項目文の素案をカテゴリー別に分ける。	

２．交流宣言文素案について

７月２７日（金）に郡山第四中学校と水俣第一中学校の生徒で話し合った内容

カテゴリー	小キーワード	宣言項目　文章内容
災害や差別に負けない心	負けない	これからも風評被害に負けず、自分たちのふるさとに誇りを持ち、みんなで乗り越えていくことを宣言します。
	広める	私たちは、原発事故・水俣病についての正しい知識を広めます。
	災害	それぞれの過去を忘れず、今を大切にします。
	差別	私たちは、原発事故・水俣病について正しい知識を持ち、差別をなくします。
	差別	差別や偏見に負けない強い心を持ちます。
	思いやり	互いに思いやりの「心」を忘れないことを宣言します。
両校の交流	交流	これからも、互いの学校のことについて教え合い親交を深めていきます。
	交流	これからもずっとたくさん交流して、お互いの良いところを取り入れ、より関係を深めていくことを宣言します。
	交流	私たちは、これからも両校の交流を深めていきます。
自然や環境	環境	私たちは環境を守り、環境について広めていくことを宣言します。
	環境	互いに故郷の環境を守り、環境について学んでいきます。
	自然	私たちは、美しい自然を大切にし、守っていきます。

３．学級生徒会の議題として全校生徒へ提案

生徒の主な活動	活動の様子等
１．学級生徒会の議題として提案 ①夏休みの交流会で作成した素案を提示 ②学級生徒会当日までに、改善点や意見などを記入しておく。	 学級生徒会の様子
２．学級生徒会で各学級の審議 ①学級委員の司会で、各学級で審議 ②各学級での意見をまとめ、生徒議会へ	
３．生徒議会で協議・議決 ①各学級からの意見を集約 ②協議 ③宣言文の見直し ④最終議決	 生徒議会の様子

４．生徒議会で議決された交流宣言文（水俣第一中学校案）

交流宣言文（案）

私たちは交流校として、互いの親睦を深め、両校ならびに郡山市・水俣市のよりよい未来のために次のことに取り組むことを宣言します。

１つ、私たちは、放射能被害や水俣病について、正しい知識を学び、自分たちの故郷を誇りに思い差別や偏見をなくします。

１つ、私たちは、環境について学んだことを他の地域にも伝えながら、故郷の自然を大切に守っていきます。

１つ、私たちは、これからも交流を続け、互いの良いところを取り入れ、親交を深めていきます。

平成２４年〇月〇〇日　　福島県　郡山市立郡山第四中学校　代表＿＿＿＿＿＿＿＿

熊本県　水俣市立水俣第一中学校　代表＿＿＿＿＿＿＿＿

５．今後の交流宣言文作成について

①　郡山第四中学校と協議→交流宣言文完成へ

②　署名式（１２月訪問時）